



広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和6年8月6日
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082) 221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→

（注）6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、一部に強さがみられるものの、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（6年4月判断）	今回（6年7月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	乗用車販売減少の影響等がみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	一部に強さがみられるものの、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→

設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	6年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は増益見込み	6年度は減益見込み	↘
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が拡大している	→
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
輸出	前年を上回る	前年を上回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、衣料品などが低調であり、前年を下回っている。家電大型専門店販売は、冷蔵庫などが低調であり、前年を下回っている。スーパー販売は、節約志向がみられるものの、単価の伸びが売上を押し上げ、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、季節商品や化粧品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、自動車認証不正取得問題などの影響により普通乗用車、小型自動車、軽自動車いずれも、前年を下回っている。このように、個人消費は、全体では、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 天候に左右され、衣料品の売行きが低調であった。（百貨店）
- 冷蔵庫などは、節約志向によってセール品や過年度モデルを中心に売れており、前年よりも販売単価が下がっている。（家電大型専門店）
- 低価格なPB商品へのシフトなど節約志向がみられるものの、価格上昇や野菜の相場高が売上増加に寄与している。（スーパー）
- 梅雨入りが例年より遅かったこともあり、日焼け止めなどのUVケア製品や制汗剤などの冷却グッズが好調。また、コロナ5類移行後、引き続き化粧品が好調。（ドラッグストア）
- 完成車メーカーからの供給が増加し、自動車認証不正取得問題などの影響から回復してきているものの、登録台数は前年を下回っている。（自動車販売）

■ 生産活動 「一部に強さがみられるものの、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

鉄鋼は、アジア圏での市況低迷の影響などにより減少している。一方、電気機械は、半導体市況に持ち直しの動きがみられることなどから、高い生産水準を維持している。輸送機械、一般機械、プラスチック製品は、海外向けの需要が堅調なことなどから増加している。このように、生産活動は、全体では、一部に強さがみられるものの、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

- アジア圏での市況低迷を背景に海外向けが低調となっているほか、国内の自動車向けも低調に推移している。（鉄鋼）
- 半導体の在庫調整の進展により、高い生産水準を継続する見通しである。（電気機械）
- 主に北米向けの受注が好調となっており、生産量が増加している。（輸送機械）
- 海外EV向けの需要が堅調なほか、生成AIの需要拡大などから、生産量が増加している。（一般機械）
- 中国製のスマートフォン市況は底打ちし、生産量が増加している。（プラスチック製品）

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、緩やかに低下している。民間職業紹介における求人件数は、堅調に推移している。企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（6年4-6月期）の従業員数判断BSIで見ると、いずれの規模においても、また、製造業・非製造業いずれにおいても「不足気味」超となっている。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 新卒採用は、特に理系の学生が厳しい状況。一部の工場では、人員不足から外国人技能実習生を多く受け入れている。（自動車・付属品）
- 複数のスキマバイトアプリを活用しており、有能な人材であれば、パート勤務として採用している。（小売）
- 「アルムナイ採用」や「ジョブリターン制度」など、退職者を再雇用する動きがみられる。（人材・職業紹介）

■ 設備投資 「6年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 製造業では、「木材・木製品」などで減少するものの、「自動車」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「金融・保険」などで減少するものの、「電気・ガス・水道」、「運輸、郵便」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 電動化に向けた設備投資の実施。(自動車)
- 発電関連の設備投資の実施。(電気・ガス・水道)

■ 企業収益 「6年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 製造業では、「その他製造」などで増益となるものの、「生産用機械」、「その他輸送用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「建設」などで増益となるものの、「学術研究、専門・技術サービス」、「運輸、郵便」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年4-6月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅が増加しているものの、貸家、給与住宅などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、自動車、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、北米、アジアなどで増加している。
なお、輸入(円ベース)は、石炭、衣類及び同附属品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別ではアジア、北米などで減少している。

広島県内経済情勢報告

(令和6年8月6日)

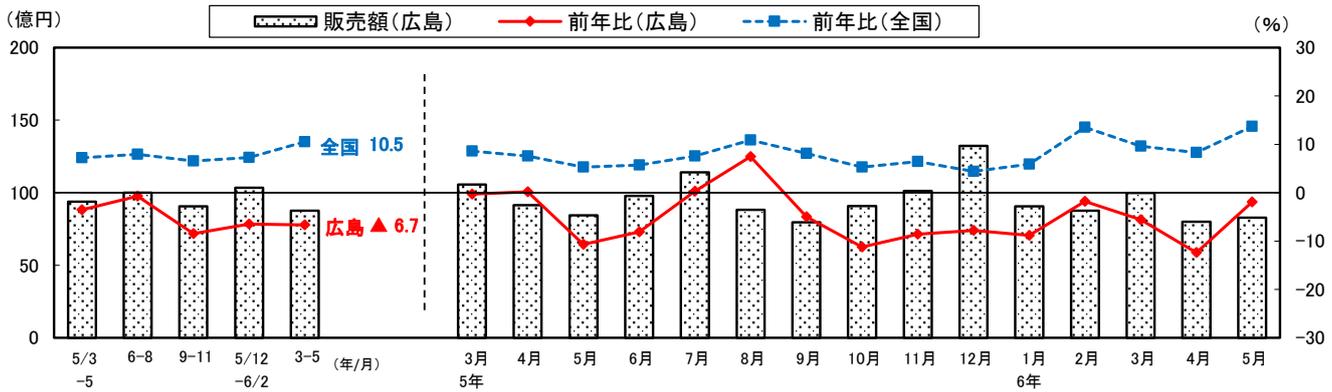
資料編

	目次	ページ
1.	個人消費	----- 1
2.	生産活動	----- 3
3.	雇用情勢	----- 4
4.	設備投資	----- 5
5.	企業収益	----- 5
6.	企業の景況感	----- 6
7.	住宅建設	----- 6
8.	輸出	----- 7

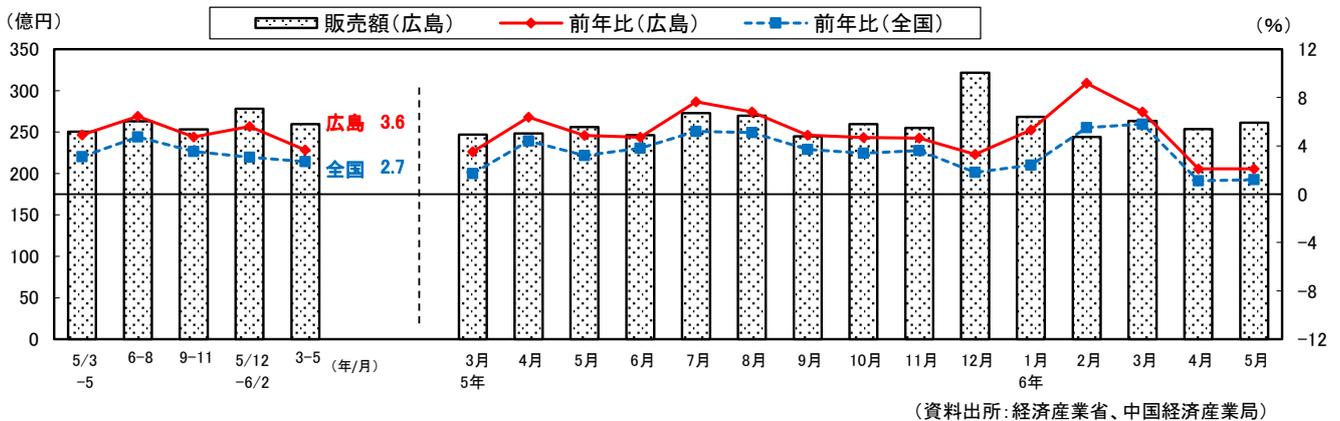
1. 個人消費 一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある

(1) 百貨店販売額(全店舗)

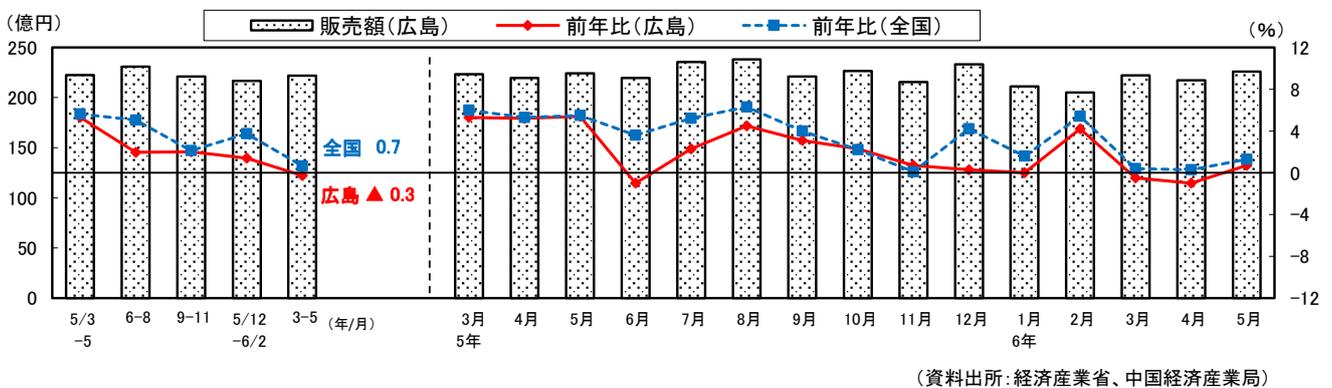
(注) (1)~(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均



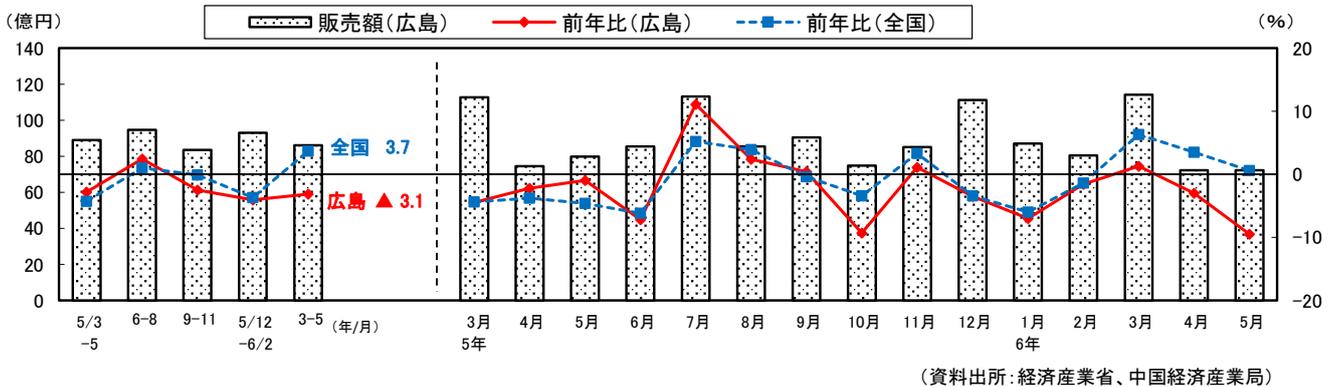
(2) スーパー販売額(全店舗)



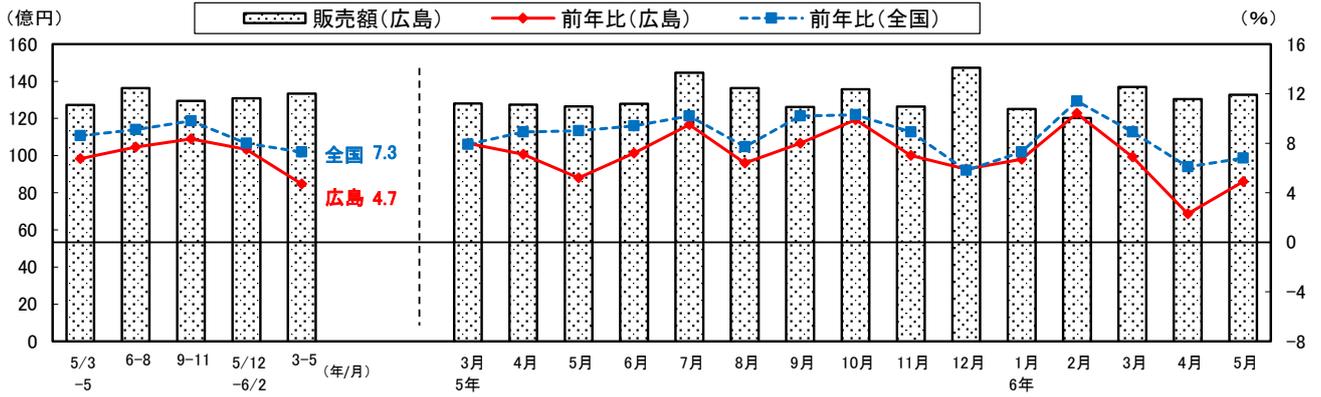
(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)

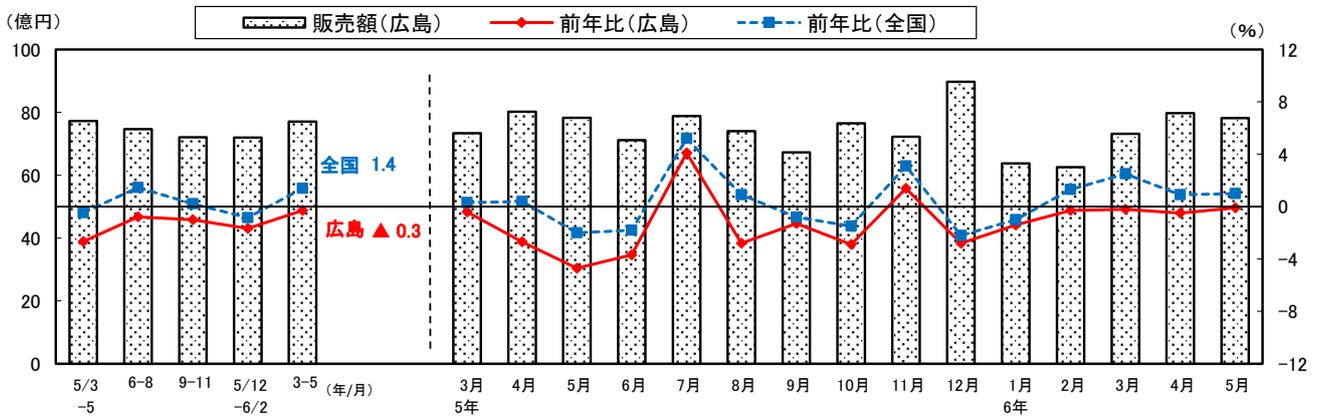


(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



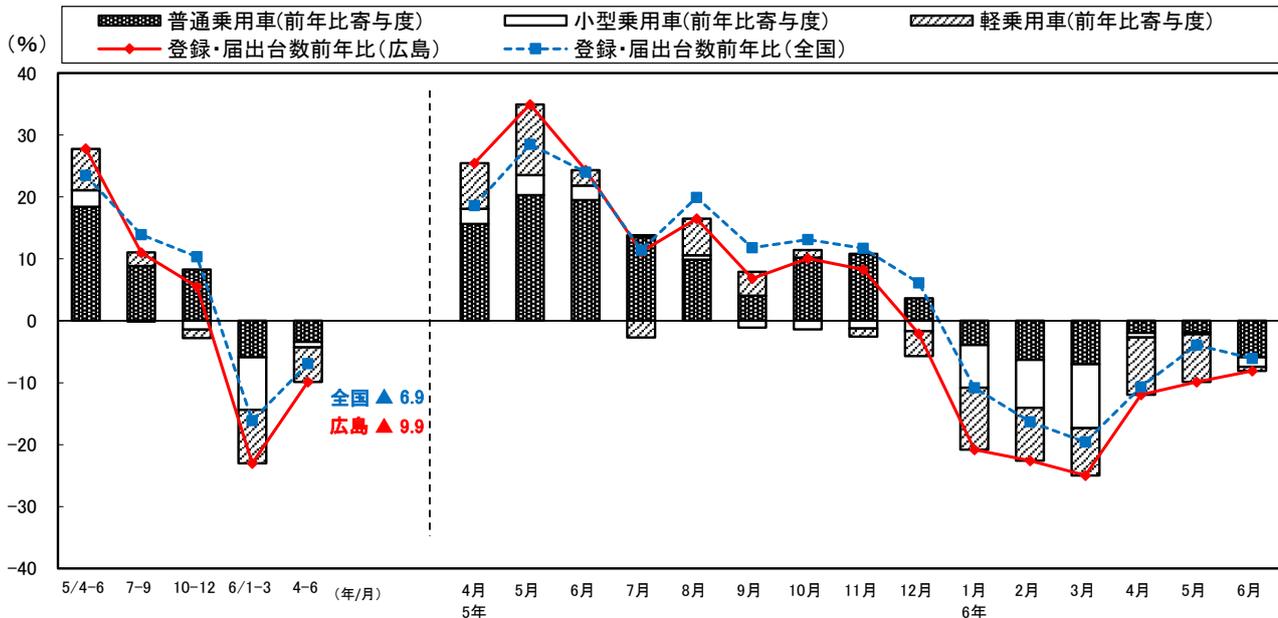
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

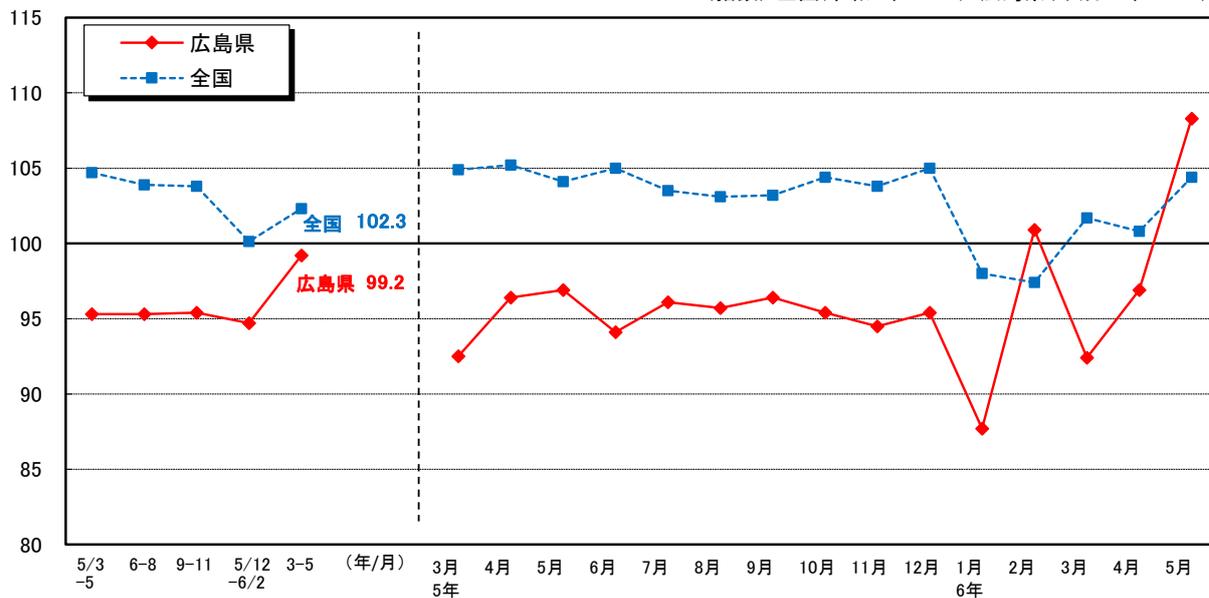


(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 一部に強さがみられるものの、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

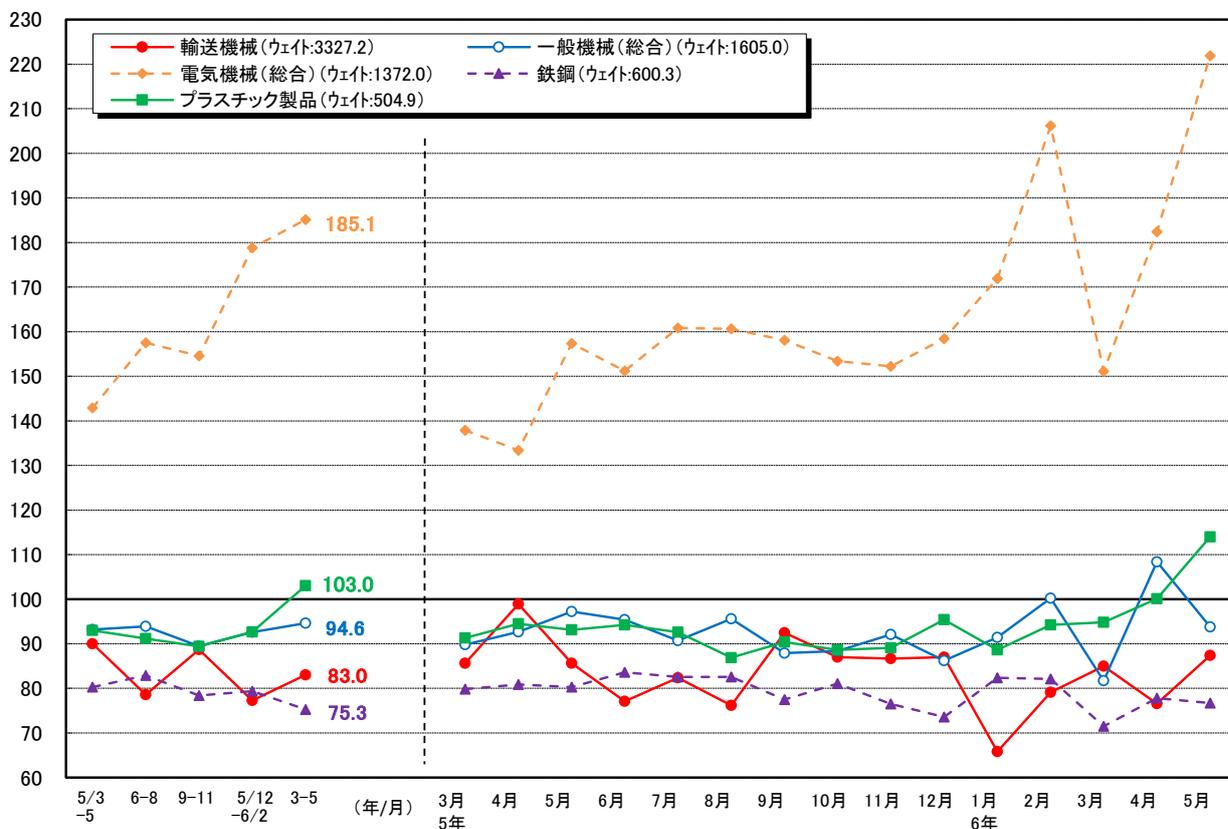
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)

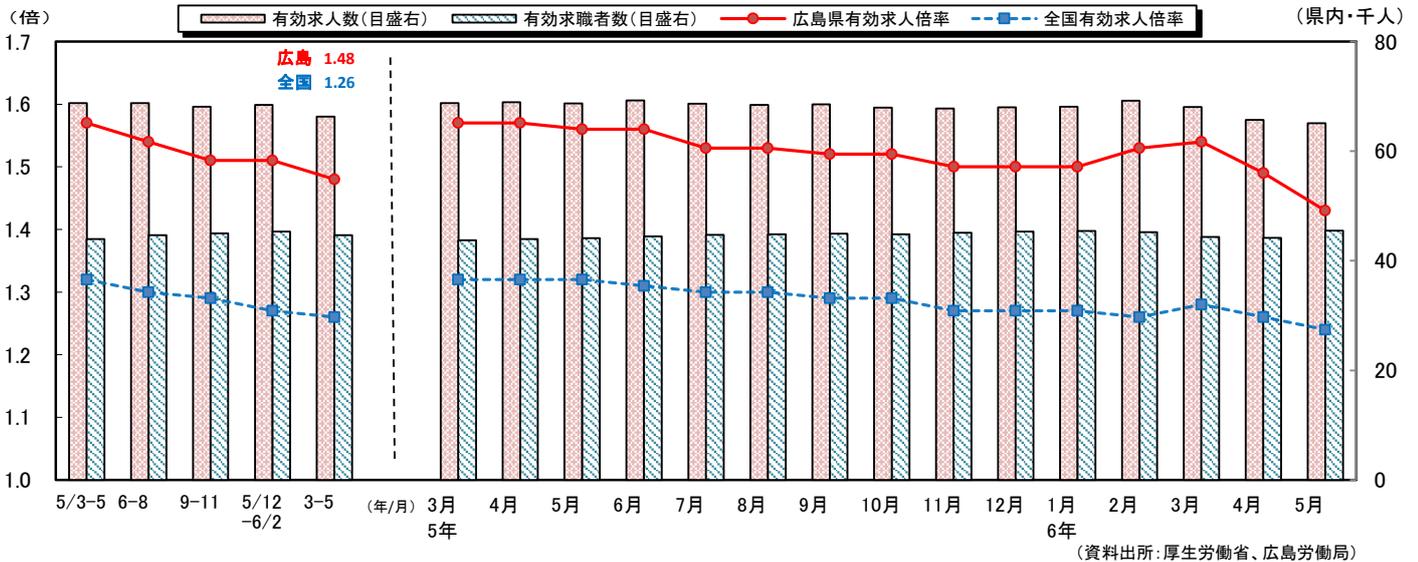


(資料出所: 広島県)

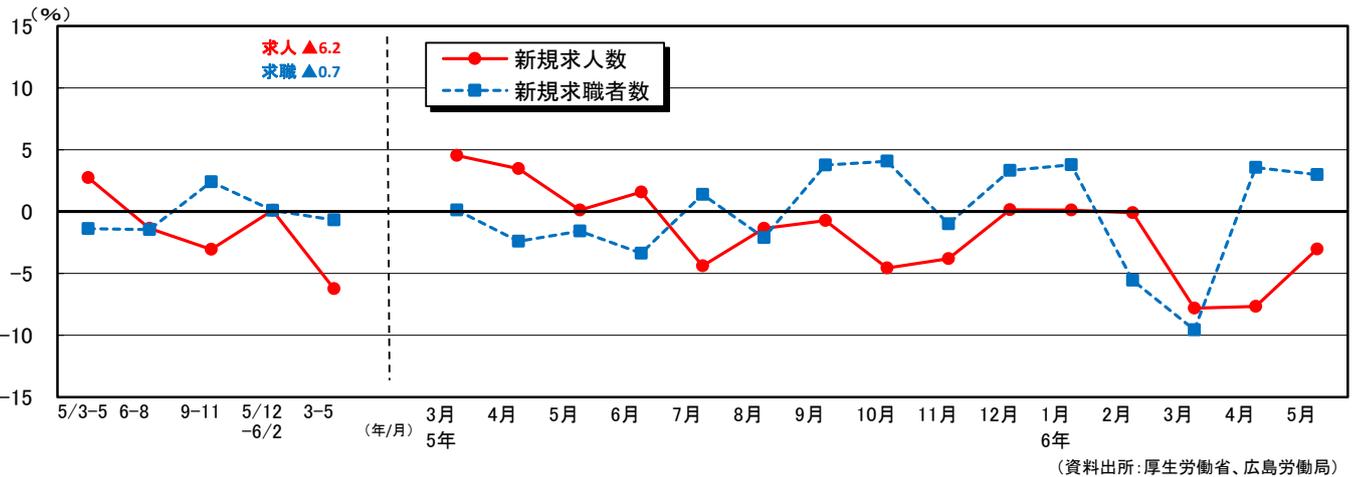
3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

(1) 有効求人倍率、有効求人・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(注)(1)のグラフの3か月毎の有効求人倍率と有効求職者数は、1月あたりの平均。

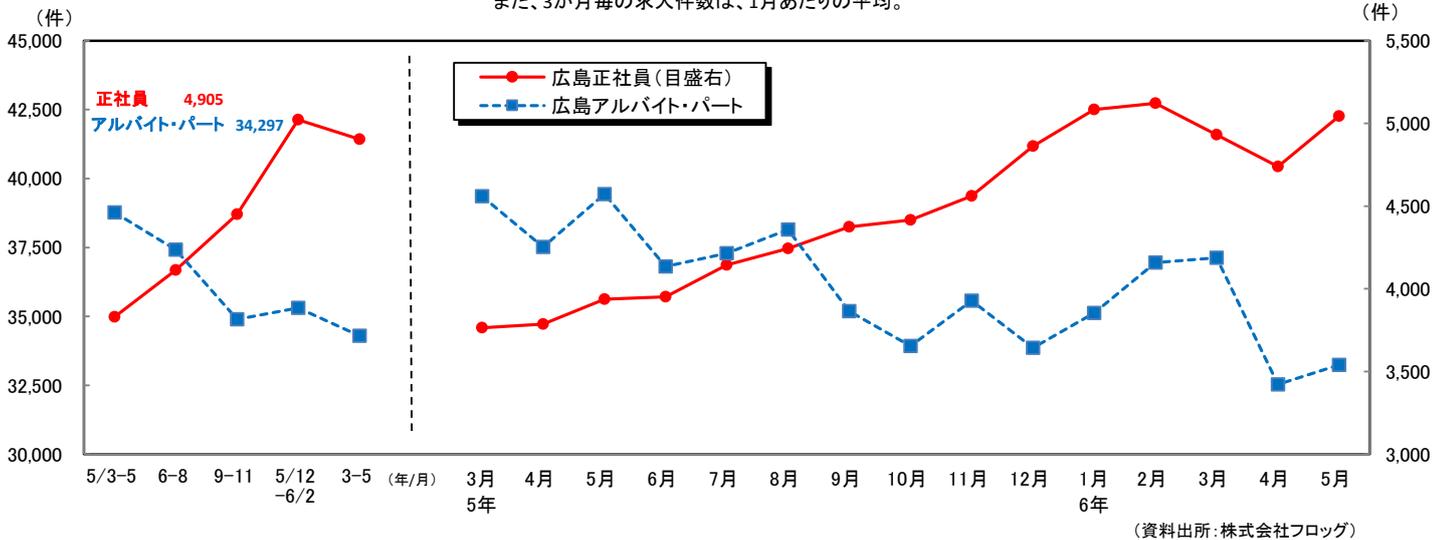


(2) 県内新規求人・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



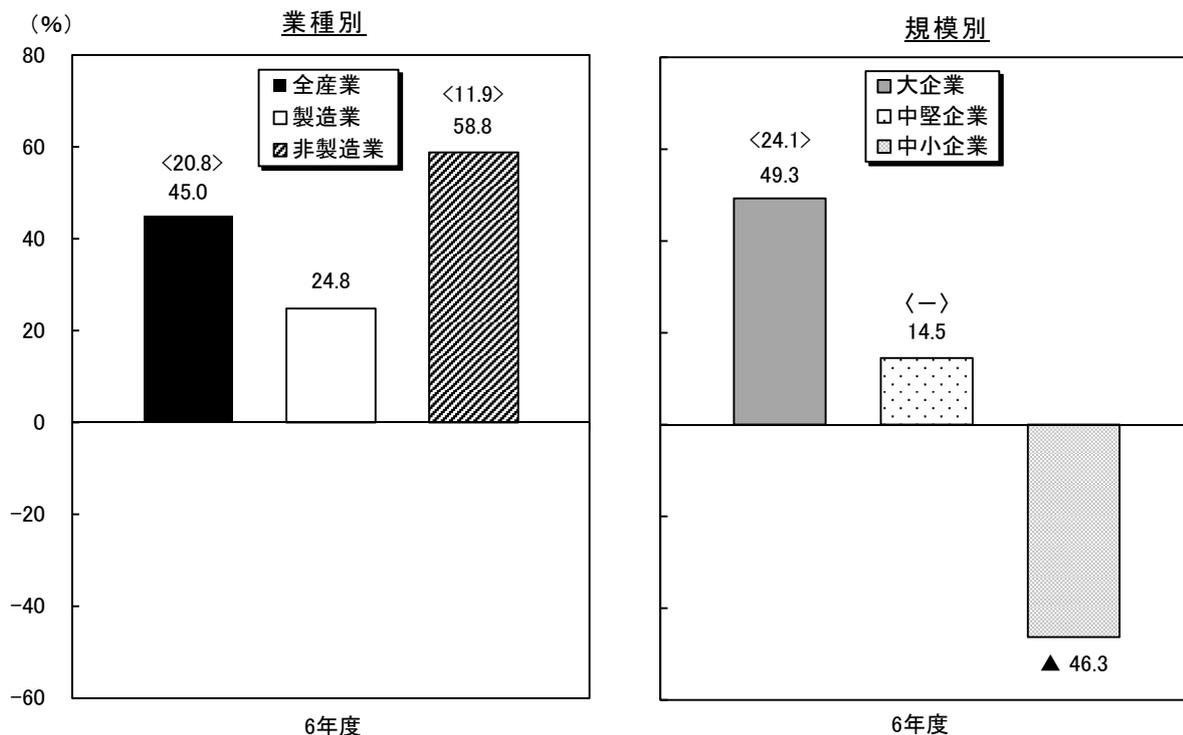
(3) 民間職業紹介における求人件数の推移

(注)(3)のグラフの各月求人件数は、毎月最終週時点の件数。また、3か月毎の求人件数は、1月あたりの平均。



4. 設備投資 6年度は前年度を上回る見込み

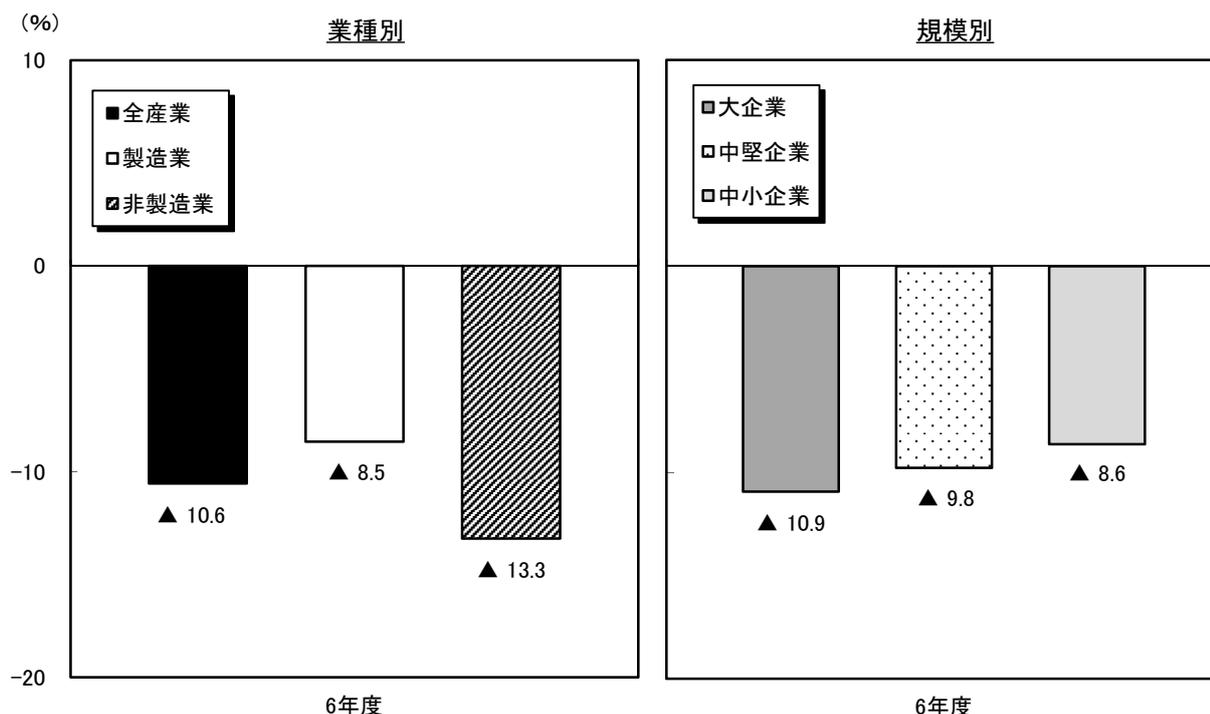
設備投資額(前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

5. 企業収益 6年度は減益見込み

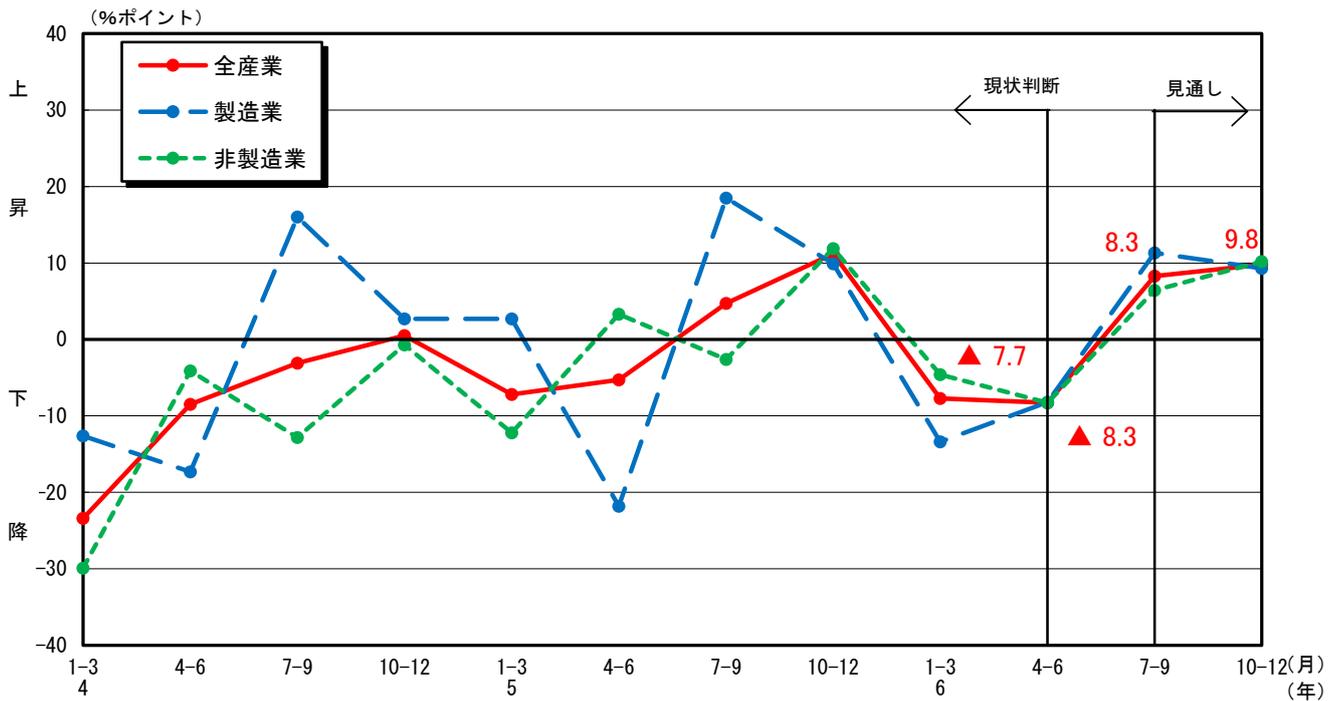
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

6. 企業の景況感 「下降」超幅が拡大している

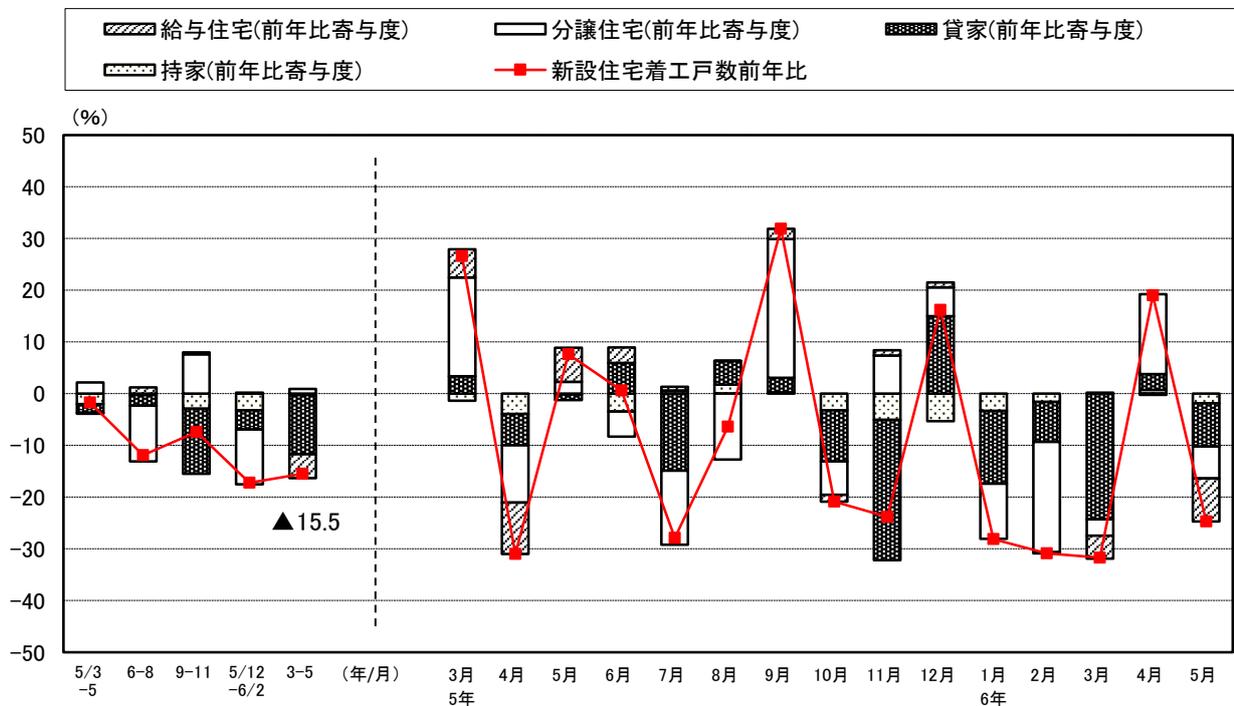
景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

7. 住宅建設 前年を下回る

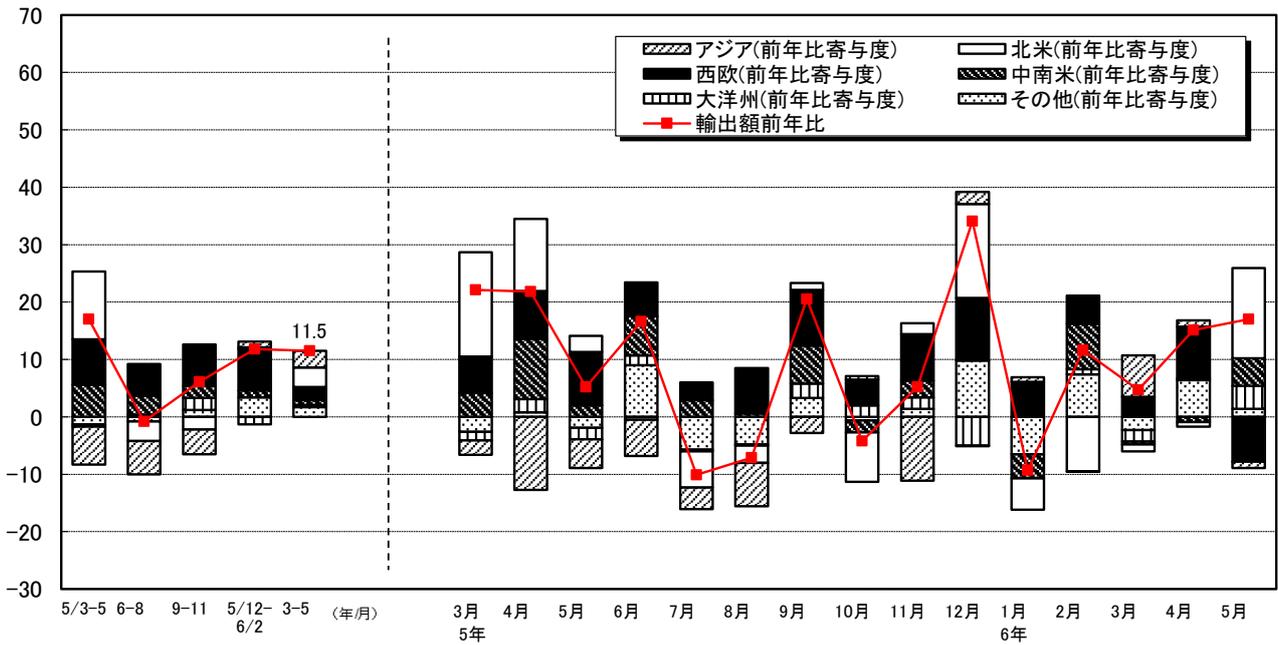
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を上回る

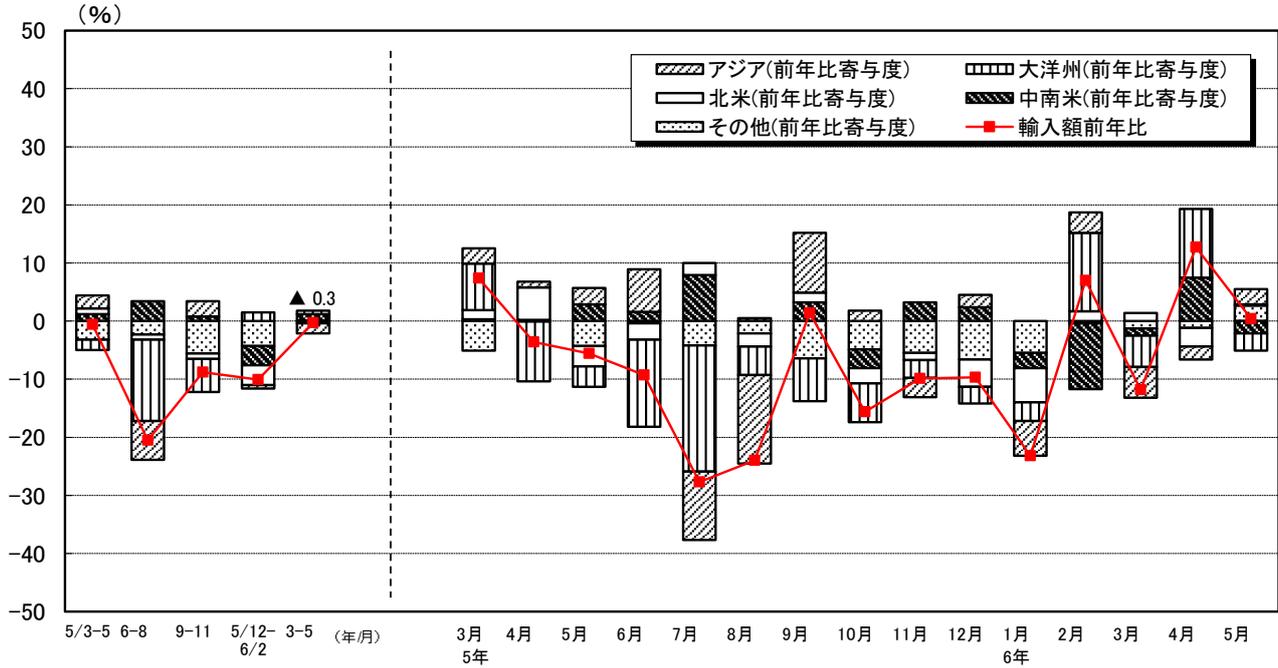
輸出(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>

輸入(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)